一般質問の要旨

学校施設の設備等の充実について

三木　伸也

問　理科室などの特別教室へのエアコン設置率は。

答　授業で使用する教室への設置率は100％である。

問　体育館へのエアコンの設置予定は。

答　具体的な設置予定は無いが、先進事例を研究し、体育館の機能強化について総合的に検討する。

なお、避難所として必要になった際の設置財源は、緊急防災・減災事業債ではなく学校施設環境改善交付金を活用したい。

問　エアコン設置について近隣市の動向は。

答　設置の動きは無い。

問　避難所としての体育館に調光機能付LED照明を設置する予定は。

答　LED照明への交換は完了しているが、調光機能は無いため、夜間時の照度調節が可能となるよう、スポット式照明器具の配備など効果的な対応を研究する。

問　小・中学校の防災機能は確保されているか。

答　小・中学校には、備蓄倉庫の設置、飲料水や仮設トイレの備蓄、非常用電源設備の配備、LPガス充填用タンクの設置、要配慮者用スロープの設置、多目的トイレの整備を行っている。

体育館にエアコンを（他市参考）

視覚障がい者に対する対応について

問　文書での通知は、近隣市はどのような対応か。

答　所沢市は市の共通封筒に点字印字をしている。

問　日高市の封筒への点字印字の対応は。

答　全封筒への印字は、形状がさまざまなため難しいが、市からの発送が分かるよう、点字シールを貼る等が考えられる。

問　音声コードの対応状況は。

答　総合計画をはじめ地域福祉計画や障がい者計画、介護保険事業計画などの各ページに音声コードを印刷している。

問　災害時の避難支援についての見解は。

答　支援が必要な方の避難行動要支援者名簿を作成しており、申請の周知・啓発に努める。

学校給食について

問　今後、学校給食に関するアンケートを行う場合の対象者と実施時期は。

答　全児童生徒と教職員を対象に、1学期の後半に行い、2学期からの献立に生かしたい。

台風第19号への対応について

鈴木　健夫

問　避難対象地域の高齢者等の避難状況は。

答　土砂災害警戒区域に高齢者等避難準備を発令したが、発令に対し誤解もあったようで、今後は発令内容の周知に努める。

問　避難情報の周知についての手段は。

答　発信できる全ての手段で周知活動を実施した。

問　避難指示対象者数と各避難所の収容可能人数とに問題は無かったか。

答　避難者が総合福祉センターに集中したので、今後、避難のあり方などについて、自主防災組織等の訓練を通じ啓発していきたい。

問　避難所運営の課題は。

答　運営には自主防災組織等の参加も検討する。

タイムラインについて

問　防災対策に有効なタイムラインの導入をどう考えているか。

答　今後の動向を注視し、検討をしていく。

高齢者の多剤服用について

問　服薬の適正化推進をどう考えているか。

答　薬局利用に関する注意喚起等は、高齢者の調剤医療費の減少に効果があるものと考えている。

問　残薬を有効活用する取り組みへの見解は。

答　横須賀市の残薬回収バッグを使った取り組みなどは、研究すべき視点であると考える。

高齢者の多剤服用

ポリファーマシー対策について

問　多剤服用の副作用で、危険な症状が出ること（ポリファーマシー）に対する取り組みは。

答　高齢者等が服薬の正しい知識を持つことが最も重要であることから、埼玉県後期高齢者医療広域連合と連携し、効果的な啓発に取り組んでいく。

骨髄バンクドナー登録の推進について

問　登録推進の普及啓発にどう取り組んでいるか。

答　日本赤十字社が中心となって取り組み、市保健相談センターでは、チラシの配布やポスターの掲示で啓発している。

問　地方公共団体でもドナー休暇制度があるのか。

答　職員の特別休暇としての制度がある。

問　骨髄移植後のワクチン再接種の助成はあるか。

答　国や県、近隣市町村の動向を注視し研究する。